

各位

2018年5月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成30年3月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)、KNT 個人旅行、クラブツーリズム、KNT 北海道、KNT 東北、KNT 中部、KNT 関西、KNT 中国四国、KNT 九州、ユナイテッドツアーズ、KNT-CT グローバルトラベル、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比 99.9%と前年並となり、一般団体は同 112.1%と前年を上回り、団体旅行合計で同 105.9%と前年を上回った。企画旅行については前年比 114.3%と前年を上回り、個人旅行については同 110.4%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 111.1%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比 79.7%と前年を下回り、一般団体は同 97.3%と前年を下回り、団体旅行合計で同 89.9%と前年を下回った。企画旅行については前年比 92.0%と前年を下回り、個人旅行については同 89.9%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 91.2%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 93.3%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は前年比 98.8%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、「平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会」などの取扱が牽引し前年比 112.1%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数が増加したが、修学旅行外において前年の大型イベント取扱の反動減により、同 99.9%と前年並となった。この結果、海外団体旅行合計で前年比 105.9%と前年を上回った。

企画旅行については、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ミクロネシア方面などが前年を下回ったが、他の方面はほぼ好調に推移し前年を上回り、取扱額で前年比 115.7%と前年を上回った。クラブツーリズムはスペイン、ロシア、イスラエル方面や噴火の影響が残るインドネシアなど低調な方面があったが、他の方面は概ね好調に推移し、取扱額で同 113.6%と前年を上回った。この結果、海外企画旅行で前年比 114.3%と前年を上回った。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 111.1%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊やツアーは好調に推移したが、前年開催の大型国際会議の取扱の影響に加え、レイルパスの取扱が減少したことにより、前年比 93.3%と前年を下回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、スポーツイベント関連旅行などの取扱人数は増加したが、前年の大型イベント団体参拝旅行の反動減により、前年比 97.3%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数や大会・イベントなどの取扱が減少し、同 79.7%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比 89.9%と前年を下回った。

企画旅行については、メイトは方面別取扱人数の状況で、九州や四国方面などが好調に推移したが、中国や甲信越方面を中心に不調となり、取扱額で前年比 89.1%と前年を下回った。クラブツーリズムは、バス旅行部門は概ね全般において低調であった。バス旅行を除く国内旅行部門は道東や北陸、関東、佐渡、関西などが好調に推移したが、噴火の影響のあった南九州方面は低調となり、取扱額で同 94.0%と前年を下回った。この結果、国内企画旅行で前年比 92.0%と前年を下回った。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 91.2%と前年を下回った。

以上